

中小野中新聞

★生徒の活躍★

○東播地区総合体育大会

駅伝 男子3区2位
藤原 謙

○男子ソフトテニス部

のじぎく杯
1位 中澤平・天野治茄
3位 金谷政幸・松本厚志

○女子ソフトテニス部

のじぎく杯
1位 中谷安・岩本千佳
3位 蓬萊舞・大城未歩

○男子卓球部

第13回バタフライダブルス
チームカップ 第3位

○柔道部

加東市柔道大会
中学生男子共通の部

- 1位 村上隆貴
 - 2位 長井達也
 - 3位 松井海斗
 - 3位 東部雄大
- 中学生男子1年生の部
- 1位 溝淵勇也
 - 2位 安田夢飛
 - 3位 嶋田将人
- 中高女子の部
- 1位 三木暁代
 - 2位 溝淵愛奈
 - 3位 高橋美裕
 - 3位 田中奈津来

○税についての作文

兵庫県納税貯蓄組合連合会
会長賞 中井理佐子

社務署長賞 蓬萊香穂
小野加西東地区租税教
育推進協議会会長賞
一橋美有紀

○小野市統一防火標語

最優秀賞 2年 入江 瑛
優秀賞 3年 魚橋那美
1年 猪野翔太
2年 井野美佑
3年 坂尾亮弥
小田睦斗
藤原郁歩
金谷政幸
古小齊志

○北播書道展

- 1年 井上紗貴
 - 2年 来村映愛萌
 - 3年 酒井悠華
- 西脇市PTA連合会賞
西脇市文化連盟賞



人権弁論大会



自転車事故防止集会

冬休みの生活

冬休みは、クリスマスや正月を迎え、生活のリズムを崩して問題行動に走りたりすることもありません。特に冬場は、友達同士で庭先や公園で安易に焚き火をして遊ぶようなことが絶対にならないように十分注意して下さい。それぞれのご家庭におかれましては、冬休みの生活について十分話し合っていたいただき、自由な中にも規則正しい生活を維持し、有意義な冬休みにするように格別のご配慮をお願い致します。

■小中交流文化発表会■

12月9日(金)の文化発表会は、午前の部は9時30分より全学年による「合唱コンクール」、午後の部は1時30分より「小学校・中学校合同合唱」「合唱発表(学年代表)」「吹奏楽部発表」を中心とした、オーブンスクールとして実施いたします。

ご家族お揃いで、ご参加ください。(午後3時終了予定)

《小中合同合唱》

今年、小中交流文化発表会として、両小学校・中学校合同で合唱「翼をください」を歌います。

《合唱発表》

各学年代表クラスが合唱を披露します。当日の午前中に実施する校内合唱コンクールの結果により、各学年代表クラスが決定されます。どのクラスが合唱を披露するかは、当日まで分かりません。

どの学級の歌が披露されるか、ぜひ楽しみにしてください。

《吹奏楽部発表》

吹奏楽部も小学生に演奏を披露します

★グラウンド造成工事進捗状況★

2月中旬までグラウンド造成工事が行われます。野球・ソフトボールのバックネット、各部の部室についても今年度末には完成の予定ですが、地域の方々にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願致します。



1年生だより

先日の参観日には多数のご参加をいただき、ありがとうございました。人権弁論大会においても各学年の代表弁士の心を伝える弁論をお聞きいただけたかと思えます。今日は、9日(金)の合唱コンクールにむけて短時間ですが、学級ごとに毎日熱心に練習をしています。また13日(火)から三者懇談が始まります。お子さんの「成長と自立」にむけて話し合いをさせていただきたく思います。有意義な懇談になることを願っています。

2年生だより

合唱コンクール、生徒会選挙と2学期をしめくくる行事が続く12月。学年が上がるにつれて、部活動や生徒会活動、学校生活において責任が大きくなってきます。自分を、クラスを輝かせるチャンスがたくさんあるこの時期を、クラスや部活動の仲間と共に乗り越えてほしいと思います。困難を乗り越えた先には、いつまでも忘れることのできない宝物となつて、心に残りますよ。また、三者懇談が13日から始まります。がんばれた自分の姿を、担任の先生や保護者の方に思いっきり語れる時間にしてください。

3年生だより

12月13日(火)〜20日(火)に、進路決定に向けての三者懇談が実施されます。事前に家庭でよく話をしておいた上で、親子双方が納得できますよう、担任の先生と相談してください。

この時期になると、進路について、子どもも保護者の皆様もいろいろ心配されることも多いと思います。不明な点は必ず学校に相談してください。また、これから卒業まで一番大切なのは、規則正しい生活を送ることだと思えます。登校時間など余裕を持った生活を家庭でも呼びかけたいと思います。3年生全員が、自分の選んだ進路に向かって、残り約3か月、充実した中学校生活を送ってくださることを願っています。

校長ブースより

△表現力の育成△

△確かな学力△とは、「関心・意欲」に支えられ、「知識・技能」を土台に持ち、「思考力・表現力」等として発揮されるものでなく、てはならないと言われています。しかし、自分の考えや意思を自分の言葉で表現することが、本校生徒にとっては、最も課題とするところであることも実態です。これは、私たち教師や大人が、子どもの発達段階に応じた対応を十分にしてこなかったことが一つの要因と考えられます。子供が自分の言葉で言うのを待たずに、大人が先回りをしてしまつと、子どもは、「うん」「いや」の二つの単語だけで、困ることがなくなつてしまつてしまう事などがその一例です。子供のため「良かれ」と思うことが、結果として子どもの成長を阻害することになつてしまつてしまつてあります。学校では、生きる力につながるコミュニケーション力や言語能力を「ASK学習」の推進や校区小中連携プロジェクトの取組で、育成すべく取り組んでいるところですが、ご家庭においても、子どもが、自分の考えや意思を自分の言葉で言うことができるように、「待つ」「耳を傾ける」「相槌を打つ」等の気持ちで接していただき、表現力豊かな小野中生と言われるように、ご協力をお願い致します。